

9月県議会が
代表質問入り

九月定例県議会は二
十四日、代表質問に入
った。共産党の宮本し
づえ議員(福島市)と
自民党の矢吹貢一議員
(いわき市)が新型コ
ロナウイルス感染対策
や復興に向けた県の対
応をたざした。二十七
日は県民連合の高橋秀
樹議員(福島市)が登
壇する。

南会津統合高に寄宿舎

県教委 遠距離通学不安解消へ

田島高敷地

県教委の県立高校改革前期実施計画で二〇三三(令和五)年度の
開校を目指す南会津町の田島、南会津両高の統合について、県教委
は生徒の通学の課題解決に向け田島高の敷地内に寄宿舎を整備す
る。統合校には新たに特別支援学校を併設し、二〇二六年四月の開
校を目指す。鈴木淳一県教育長が矢吹議員と写真の質問に答えた。



寄宿舎は統合校の開
校に合わせて新設。部
屋は十三室設け、一室
二人で計二十六人が利
用できる。豪雪地帯で
の遠距離通学の不安を
解消し、さらに部活動
や勉強時間を確保する

ため整備する。主に町
内の遠方に住む生徒や
町外から入学を希望す
る生徒が対象となる。
工期を短縮するため
事業者が設計、施工し
た上で県が購入する
「買い取り型」で整備
する。プロポーザル方
式で具体的な事業内容

を募り、年内に事業者
を選ぶ。二〇二一年度
一般会計補正予算に二
〇二二年度の債務負担
行為として関連事業費
三億円を計上した。
新設する特別支援学
校は、小中学部と高等
部合わせて計三十五人
程度の児童生徒を募集
する予定。小中学部は
校舎を新しく構える。
高等部は田島高の校舎
の一部を使用する。
田島、南会津両高の
統合については町民か
ら反対の声も上がって
いる。県教委は「今後
も必要に応じて住民ら
に丁寧に説明してい
く」としている。

また、県教委が安達
地区に新設する特別支
援学校は二〇二五年四
月に開校する。小中学
部は二本松市の旧建設
技術学院跡地に校舎を
整備。高等部は本宮市
の本宮高の校舎を一部
使う。小中学部の新校
舎は二〇二五年半ばの
完成予定で、早期開校
の要望に応える。小中
学部の児童生徒は校舎
完成まで県立たむら支
援学校で教育活動を行
い、新校舎完成後に移
転する。
県教委によると、募
集する児童生徒数は小
中高合わせて七十五人
程度を想定している。